

新旧 2 つの堤体が並ぶダム

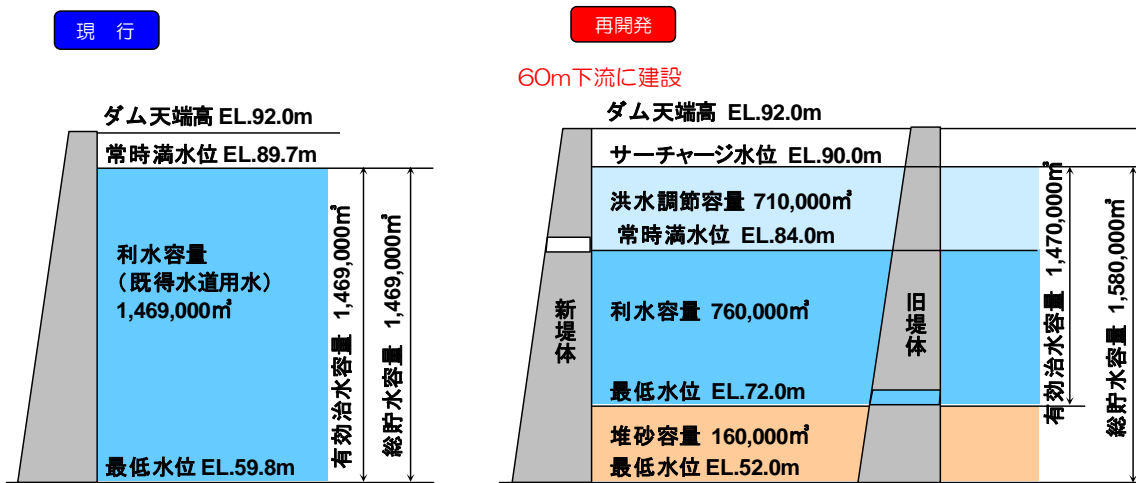
長崎水害緊急ダム事業によって整備されたダムのひとつ西山ダムは、中島川の支川西山川に存した明治年間に建造された歴史的にも価値の高い水道専用ダムの保存を図りながら、ダムに洪水調節機能を確保するため再開発工事が行われました。

新西山ダム成立とその機能

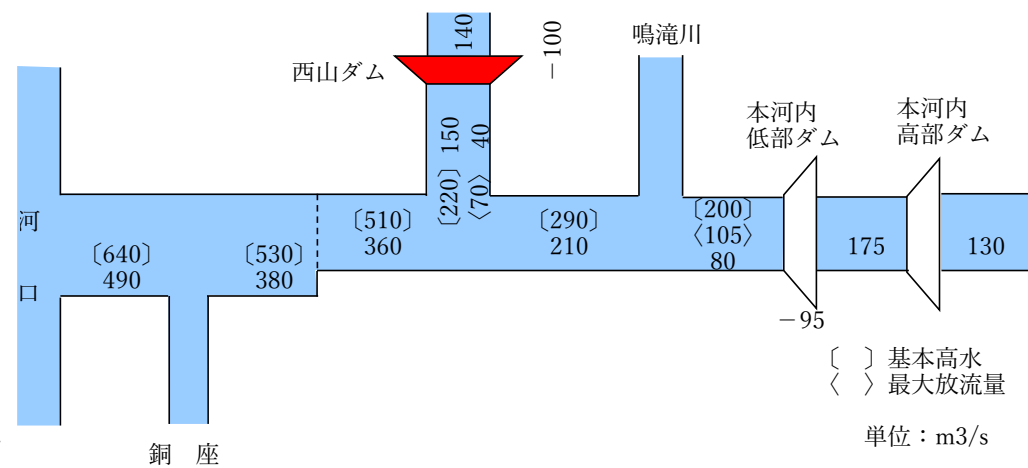
既設水道専用ダムの改造は老朽化のため困難であること、また、明治年間に建造され国内 3 番目に古いコンクリートダムという歴史的構造物として貴重な財産であるため、西山ダムの再開発にあたっては、旧堤体はそのまま保存しながら、新しい堤体「新西山ダム」を旧堤体 60m 下流に建造することとしました。



(左上、右上写真) 西山ダムの現在の写真
(左写真) 工事中の西山ダム写真右側が旧堤体になります。



西山ダム容量配分図



中島川流量配分図

西山ダムでは長崎大水害時の雨での最大流入量 140m³/s をカットし 40m³/s を下流に流します。